

JOT

日本石油輸送
75年史



JOT Shift for the Next

H2 水素ステーション

JOT 日本石油輸送の森

JOT ソーラーステーション

JOT JOT JOT JOT

JOT JOT JOT JOT

JOT JOT JOT JOT JOT

JOT JOT

JOT JOT JOT

JOT JOT COOL CONTAINER

刊行のごあいさつ

日本石油輸送株式会社は2021(令和3)年3月、創立75周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝と御礼を申し上げます。

弊社は第二次世界大戦中の統制機関であった共同企業を源流とし、終戦後の混乱のなか、114両の石油タンク車、タンクトラック1台を引き継ぎ、日本原油輸送としてスタートを切りました。その後、数度の社名変更を経て日本石油輸送となり、石油輸送のプロフェッショナルとして、お客様から選ばれる企業を目指し、着実に歩んでまいりました。そして我が国の戦後の発展とともに石油化学製品、冷蔵コンテナ等、鉄道輸送を基軸として自動車輸送を担うグループ会社とともに事業領域を広げてまいりました。

弊社の歴史を支えてきたものは、1951(昭和26)年に制定された社是「奉仕こそ我が務め」であり、これには「企業は利潤を追求するだけでなく、社会に奉仕する存在であるべきで、そのような企業こそ発展を許される」という思いが込められています。

これまで弊社では社史として『15年史』『25年史』『50年史』を発刊しております。最後の発刊から25年が経過しておりますが、この間は、バブル景気後の産業構造の転換、特に石油から高圧ガスをはじめとした新エネルギーへの転換という、日本石油輸送グループにとってかつてない荒波を受ける時期でした。弊社ではこれまで以上にグループの総力を結集し、鉄道・自動車輸送を「両輪」とした事業展開を推し進め、お客様のご支援のもと、この荒波を乗り越えてまいりました。

この『日本石油輸送75年史』では、これまでの50年間で改めて振り返るとともに、グループ一丸となって歩みを進めた直近の25年にスポットライトを当て、執筆しております。

75周年は大きな節目の一つではありますが、あくまで通過点であります。次の100周年に向けて日本石油輸送グループは「奉仕こそ我が務め」の精神を胸に、産業や生活を支える国内No.1のエネルギーの輸送企業を目指し、邁進してまいります。

今後とも皆様におかれましては、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

日本石油輸送株式会社

代表取締役社長 原 昌一郎